

平成 30 年度事業報告書（第 7 期）

第 7 期 平成 30 年 8 月 1 日から令和 1 年 7 月 31 日まで

特定非営利活動法人フェアスタートサポート

1 事業の成果

神奈川、東京エリアにおける足元の就労支援活動を大事にしながらも、日本全国レベルにおける各児童養護施設等の就労支援に対するニーズにも触れることができる年になった。

児童養護施設においては、まだ多くの施設が就労支援についての「型」を模索しており、全国社会福祉協議会と協働で作成したツールに全国から注目が集まり、職員研修の講師として呼ばれる機会も増えた。また、継続して行っている神奈川、東京以外の関東圏における地域の児童養護施設と企業とのコーディネート事業については、年々参加者が増えており、ニーズに応えられていることを実感している。

定時制高校においても、新規高校からの依頼が増え、定時制高校におけるキャリア教育のニーズの高まりも感じる年となった

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 児童養護施設、自立援助ホーム入所児童を中心とする社会的養護のもとで生活をする児童等へのキャリア教育事業

ア 社会的養護や定時制高校等に在籍する児童への就職相談

- ・内 容 社会的養護のもとで暮らす児童や定時制高校等に通う生徒の就職の相談業務を通じ、就労体験や会社見学などの必要なステップへとつなげる。また、希望があれば適性検査を無料で提供し、一人ひとりの興味や適性を考慮した就労支援を実施する。
- ・日 時 依頼に応じて随時
- ・場 所 関東圏を中心とした児童養護施設、夜間定時制高校等
- ・従事者人員 4 人
- ・受益対象者 社会的養護や夜間定時制高校等の児童、生徒、教職員、里親等
- ・実績 113 件
- ・支出額 2,047,265 円

イ 会社見学、就労体験のコーディネート

- ・内 容 社会的養護のもとで暮らす児童や定時制高校等に通う生徒の会社見学や就労体験を受け入れてくれる企業情報を提供し、コーディネートする。実際に就職する前に本人の興味や適性を踏まえて、会社見学や就労体験の機会を重ねることで納得感の高い就労を目指す。
- ・日 時 依頼に応じて随時
- ・場 所 各受け入れ先企業
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 社会的養護や定時制高校等の児童、生徒、教職員、里親等

- ・実績 46 件
- ・支出額 400,303 円

ウ プログラミング教室

- ・内 容 児童養護施設等に入所する児童を対象とした 1 日開催の単発教室。協力企業と連携してプログラミングの基礎を学ぶ教室を開催。
- ・日 時 平成 30 年 8 月 25 日 13:30~16:30
- ・場 所 横浜市技能文化会館 702 号室 神奈川県横浜市中区万代町 2-4-7
- ・受益対象者 東京、神奈川の児童養護施設で暮らす児童
- ・実績 6 人（高校 1 年生~3 年生）参加
- ・従事者人員 2 人
- ・支出額 3,888 円

エ 定時制高校における在校生を対象としたキャリアセミナー

- ・内 容 定時制高校にて、企業経営者や団体代表が講師となり生徒たちに向けてキャリア観の醸成や自身の興味や適性に即した職種に触れる機会の創出を目的にキャリア授業を実施した。
- ・日 時 平成 30 年 10 月 19 日 相模向陽館高校
平成 31 年 1 月 22 日 厚木清南高校
1 月 23 日 厚木清南高校
1 月 31 日 厚木清南高校
2 月 5 日 横浜翠嵐高校
令和 1 年 5 月 22 日 茅ヶ崎高校定時制
7 月 2 日 厚木清南高校
7 月 3 日 厚木清南高校
7 月 17 日 茅ヶ崎高校定時制
7 月 23 日 横浜翠嵐高校
- ・場 所 相模向陽館高校、厚木清南高校、横浜翠嵐高校、茅ヶ崎高校定時制
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 定時制高校の生徒
- ・実績人数 393 人
相模向陽館高校 120 人、厚木清南高校 140 人
横浜翠嵐高校 110 人、茅ヶ崎高校定時制 23 人
- ・支出額 235,009 円

オ 神奈川、東京以外の関東圏における、地域の児童養護施設と企業のコーディネート

- ・内 容 千葉、埼玉、栃木、群馬、茨城、静岡県内の児童養護施設とその地域の企業の顔の見える関係性の構築を目指し、交流会や見学会を開催した。施設と企業の相互理解が深まり、入所児童への就職支援の幅が広がった。
- ・日 時 児童養護施設の高校生と企業団体の交流会等の実施日程
平成 30 年 8 月 6 日
11 月 26 日

12月9日
平成31年2月13日
3月26日
令和1年5月18日
6月8日
6月25日
7月29日

- ・場 所 各児童養護施設、企業等
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 神奈川・東京以外の関東圏の児童養護施設や地域の企業
- ・実績人数 390人
- ・支出額 5,115,628円

オ 情報誌「エール」の発行

- ・内 容 社会的養護等で育った後に社会人として自立した20代の若者、3～40代の方のインタビュー等を集めた冊子「エール」を刊行し全国の児童養護施設等に無料送付を行う。
- ・日 時 平成30年11月発行
- ・場 所 全国の児童養護施設、自立援助ホーム、定時制高校等へ郵送
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 全国の社会的養護等の若者
- ・支出額 407,764円

カ 会社見学・就労体験情報サイト「18スタート」の開発

- ・内 容 社会的養護のもとで暮らす児童や夜間定時制高校等に通う児童の会社見学や就労体験の受け入れ先として、協力を頂いている企業の情報を発信するためのサイトを作成した。
- ・日 時 平成30年12月～令和1年7月
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 全国の社会的養護等の若者
- ・支出額 324,000円

② 児童養護施設、自立援助ホーム退所者等の社会的養護の下を巣立った若者等の就職後のアフターフォロー事業

- ・内 容 社会的養護や定時制高校から巣立った若者と、様々な職種の社会人、学生ボランティア等による交流イベントを行い、また個別相談の機会を設け、就職後の若者の就労が持続する為のサポートを行う。
- ・日 時 <個別相談>
随時
<交流イベント>

平成 30 年 9 月 23 日 バーベキュー (11 人)
10 月 21 日 フットサル大会 (7 人)
12 月 16 日 クリスマス会 (10 人)
平成 31 年 1 月 22 日 新年会 (7 人)

- ・場 所 横浜市内飲食店、市民センター等
- ・受益対象者 社会的養護等のもとで育った若手社会人、その他一般人
- ・実績人数 イベント参加 35 人
- ・従事者人員 4 人
- ・支出額 99,768 円

③ 社会的養護施設等退所児童等支援におけるネットワーク構築モデル事業（委託事業）

- ・内 容 社会的養護のもとを退所する児童の就労支援において、職員を含めた関係者の関わりが重要であることを鑑みて、その取り組みの質の向上を目的に、就労支援の事例検討を行った。その結果を元に就労支援に関するアセスメントのためのツールを作成した。
- ・日 時 平成 30 年 8 月～平成 30 年 2 月
- ・場 所 神奈川県・東京都の市民センター、企業の会議室等
- ・受益対象者 社会的養護等退所者、児童養護施設等関係者、企業関係者 等
- ・従事者人員 3 人
- ・支出額 1,800,000 円